

おばら よしおき
小原 仁興 議員

40年前の議決は今でも有効ですか

町長 現在も維持しているものと考えます



核のゴミアンケート

質問 寿都町の核のゴミについて北海道新聞が緊急アンケートで、核のゴミの受け入れについて聞かれています。ところが本町はどのような回答をしたのか伺います。

町長 私の考えとしては農業や住民生活への不安等の影響、地域のイメージの影響・低下を考慮するとともに、本町は「最適地」とされておらず、受け入れの意思は全くありません。

再質問 1980年に三菱金属所有の銅鉱山の廃坑を利用して貯蔵可能性を探る基礎試験を、現在の原子力機構が行いました。それを受け議会では「下川鉱山における岩石透水試験等特別委員会」を設置し、核については受け入れないと決議をしたところです。北海道議会も2000年10月に、幌

延町の貯蔵可能性が出てきたことから、核の地層処分を受け入れないとした「核抜き条例」が可決されました。町長はこの二つの議決は今でも有効だと考えていますか、回答を求めます。

町長 この時点での議決は非常に有効であり、現在も維持しているものと考えています。40年の経過の中で、住民感情や様々な判断があるので一定程度推移は見守っていかねければならないと考えています。

今こそコロナジョイント

質問 政府の目玉政策でありました「特別定額給付金」の給付率は、本町ではどの程度であったのでしょうか。

町長 対象者3,228名のうち、給付者数は3,227名。1名は単身世帯の世帯主が申請前に死亡し、対象外となったためであり、給付率は99.97%でした。

再質問 実質100%の配布率であったことは高く評価します。担当課も大変苦労されながら任務に当たっていたいただき、このような特殊性のある配布に対して誇りをもってやっていただきました。一方で取り組むスピード感もさることながら、短期間で処理を終了することも町民の福祉に寄与するものと思うが町長の考えを伺います。

町長 今回の定額給付金は、道内でも、おそらく1・2位のスピードで支給できたと自負しているところで、今後もスピード感をもって進めてまいりたいと思います。

再質問 町長は、本町の利益のために札幌などの公務が多くなってきたと思います。個人的な質問になり恐縮ですが、町長の携帯電話に政府の推奨する新型コロナウイルス接触確認アプリ

「COCOA」がダウンロードされていますか。

町長 ダウンロードしていません。

再質問 新型コロナウイルスに町民が罹患したとして、対外的に居住地・年齢・性別非公表と、こういう場面があるのだと思います。この場合は行政として、その情報は町民に公表されるのか伺います。

町長 国の定める個人情報保護の観点から本人の意思が確認できなければ、基本的には町では公表いたしません。

再質問 そのリスクが高まっているのに公表しないのでしょうか。

町長 日本国では個人情報の問題がありまして、本人の意思を確認した中で国や都道府県が公表しているというものです。